

2006年10月16日

会社名 株式会社 大丸
 コード番号 8234
 代表者名 取締役会長兼最高経営責任者
 奥田 務

2006年 9月度 大丸 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	9 月 度
百貨店業	0.3
スーパーマーケット業	0.3
卸売業	16.6
その他事業	0.6
連結合計	2.8

(注) 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

2. 百貨店業 売上高概況

1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	9 月 度	
	売上高	入店客数
心齋橋店	5.8	19.1
梅田店	4.5	0.6
東京店	0.9	0.4
京都店	0.0	4.6
山科店	2.5	-
神戸店	3.0	2.1
新長田店	1.2	-
須磨店	0.7	-
芦屋店	1.8	-
札幌店	7.4	2.5
直営10店舗計	1.0	2.7
博多大丸	2.6	2.1
下関大丸	1.6	0.1
高知大丸	2.3	0.1
今治大丸	3.0	9.2
百貨店業合計	0.3	-

(注) 直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸、札幌の6店計である。

2) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	9 月 度
紳士服・洋品	3.2
婦人服・洋品	0.5
子供服・洋品	2.9
その他の衣料品	5.7
衣料品計	0.0
身 回 品	5.9
家 具	4.4
家 電	9.6
その他の家庭用品	0.1
家庭用品計	0.5
生 鮮	5.9
菓 子	3.2
惣 菜	6.7
その他食料品	11.8
食料品計	1.6
食堂・喫茶	5.4
化粧品	2.2
美術・宝飾・貴金属	2.8
その他雑貨	7.7
雑 貨 計	0.9
サービ	5.3
そ の 他	8.5
合 計	1.0

(注) 2006年3月から「日配品」の売上を「生鮮」から「その他食料品」に移動。

3. 概況

1) 百貨店業

- ・ 9月の百貨店業の売上高は、婦人服キャラクターや婦人ブーツ、紳士服プレタポルテなど季節衣料品および関連アイテムが好調に推移し、直営店是对前年1.0%増、百貨店業全体では同0.3%増となった。
- ・ 直営店の店別売上高は、梅田店、東京店、神戸店、札幌店など直営10店舗うち7店舗が前年を上回った。なお、札幌店は29ヶ月連続。心齋橋店は前年9月にオープンしたそごう開店景気の反動減。
- ・ 婦人服・洋品は、キャラクターを中心にワンピースやコートが活発に動いたものの、特選やプレタポルテの不調が響き、全体ではやや苦戦した。紳士服・洋品は、プレタポルテや催事が好調に推移した。身の回り品は、婦人ブーツが牽引した。食料品は、惣菜、ベーカリーなどを中心に好調を持続した。雑貨は、美術工芸品や化粧品に動きがあった。
- ・ 博多大丸は、婦人洋品や紳士服は堅調に推移したものの、台風などの影響もあり苦戦した。下関大丸は、紳士服や食料品など店頭は好調に推移したが、美術・宝飾品など外販の苦戦が響いた。

2) その他

- ・ スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、対前年0.3%減となった。地区別では、関東地区は下北沢店改装に伴う7日間の休業があったものの対前年1.0%増、一方、関西地区は郊外小型店舗を中心に苦戦し、同2.5%減となった。
- ・ 卸売業の大丸興業の売上高は、電子部品が大幅増で牽引した。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343